

第1回超臨界二酸化炭素染色および加工に関する国際シンポジウム 1st ISSDFのご案内

日時：平成30年10月10日(水)～12日(金)

会場：ホテル インター ブルゴ，大邱市（韓国）

超臨界二酸化炭素染色は、従来の水系染色に比べて水とエネルギー消費が大幅に削減される、低環境負荷次世代染色法として世界中から注目を集めています。研究者や技術者が長年、様々な繊維の染色、機能加工に取り組み続け、ようやく一部が工業化する中、さらにこの技術を発展すべく、第1回超臨界二酸化炭素染色および加工に関する国際シンポジウム（1st ISSDF）を、韓国・日本・中国の共催で、繊維産業の街である韓国の大邱にて開催いたします。この国際シンポジウムでは、関連の研究および技術情報の交換だけでなく、世界中から参加する研究者、技術者間の交流を促し、新たなアイデアの提案と実用化への展開を目的としています。

1st ISSDF に共催します繊維学会超臨界流体研究委員会の会員の皆様はもちろんのこと、会員以外の方々も超臨界流体加工にご興味ある方は、奮ってご参加下さい。

トピックス：

- ・ 超臨界流体染色用染料
- ・ 超臨界流体染色および仕上げ加工用繊維
- ・ 超臨界 CO₂ 染色の構成要素のデザイン
- ・ 超臨界流体染色および仕上げ加工プロセスの熱流体力学
- ・ 超臨界 CO₂ フローの可視化
- ・ 超臨界流体染色に染色プロセスにおける繊維の機能化
- ・ 超臨界流体染色装置
- ・ 超臨界流体フローの測定及び装置
- ・ 超臨界流体染色の性能試験と評価
- ・ 超臨界流体染色と産業資材のための新しい技術
- ・ 超臨界 CO₂ を用いた最近のプロセス工学
- ・ 超臨界 CO₂ の熱流体力学の計算シミュレーション
- ・ そのほか超臨界 CO₂ 処理に関するトピックス

プログラム：

- 一日目(夕方)：受付とウェルカムパーティー
- 二日目：講演・発表と懇親会
- 三日目(午前)：エクスカージョン

参加登録料：

	参加登録料	内容
一般*	USD 400	USB プロシーディングス, 全セッション参加資格, コーヒーブレイク, 昼食, バンケット, エクスカーション
学生*	USD 300	
同伴者	USD 100	ランチ, バンケット, エクスカーション

*超臨界流体研究委員会の会員で希望者には、登録料の半額を研究委員会より補助します。ただし、人数が多い場合には補助が減額されることがあります。また、研究委員会より補助を受けた方は、シンポジウムの報告記作成（詳細は後日連絡）をお願いする予定です。

発表申込：①発表タイトル、②著者・共著者名とそれぞれの所属（発表者に○）、③300単語程度の要旨をマイクロソフト社ワードファイルにて作成し（特に書式はありません）、7月15日までに Lee JH(adrc@anu.ac.kr)宛にメールで送信ください。

重要な日程：

発表申込締切	7月15日
採択通知	8月25日
事前登録*	9月15日
論文概要締切**	9月15日
シンポジウム	10月10日～12日

*詳細は後日改めてお知らせします。 **2頁以内で作成した概要をシンポジウムの論文とします。

主催：

- ・ DYETEC (Korea Dyeing and Finishing Technology Institute)
- ・ KOTMI (Korea Textile Machinery Research Institute)
- ・ KTDI (Korean Textile Development Institute)
- ・ KSDF (Korean Society of Dyers and Finishers)
- ・ KSV (Korean Society of Visualization)

共催：

- ・ 繊維学会超臨界流体研究委員会
- ・ Dyeing and Finishing Professional Committee of China Textile Engineering Society

国際組織委員会：

- Nam Sik Yoon (DYETEC, Korea)
- Heuy Dong Kim (Andong National Univ. Korea)
- Sam Soo Kim (Yeungnam Univ. Korea)
- Deog Hee Doh (Korea Maritime and Ocean Univ. Korea)
- Jae Won Lee (Korea Textile Machinery Research Institute, Korea)
- Yoon Wu Lee (Seoul National Univ. Korea)
- Satoko Okubayashi (Kyoto Institute of Technology, Japan)
- Teruo Hori (Univ. of Fukui, Japan)
- Kazumasa Hiroaki (Univ. of Fukui, Japan)

Guanghong Zheng (Chengdu Textile College, China)
Vincent Nierstrasz (Univ. of Boras, Sweden)
Martijn van der Kraan (DyeCoo, Netherlands)
Kunihiro Hamada (Shinshu Univ. Japan)
Torsten Textor (Deutsches Textilforschungszentrum, Germany)
Xi Zhao (Nicca Chemical Co. Ltd, Japan)
Tarek Abou Elmaaty (Damietta Univ. Egypt)

実行委員会：

実行委員長 Sam Soo Kim (Yeungnam Univ.)
副実行委員長 Heuy Dong Kim (Andong National Univ.)
秘書 Deog Hee Doh (Korea Maritime and Ocean Univ.)
庶務 Jae Woong Lee (Yeungnam Univ.)
委員 Mal Yong Seo (KTDI)
Seung Geol Lee (Pusan National Univ.)
Jin Ho Jang (Kumho National Univ.)
Tae Kyeong Kim (KyungPook National Univ.)
Young A Son (Chungnam National Univ.)
Seok Han Yoon (DYETEC, Korea)
Kwang Hoon Rhee (Univ. of Seoul)
Joon Seok Koh (Konkuk Univ.)
Jung Jin Lee (Dankook Univ.)
Yun Seok Heo (Keimyung Univ.)

招待講演：

- ・ Prof. Vincent Nierstrasz (Univ. of Boras, Sweden)
- ・ Prof. Y.W. Lee (Seoul National Univ. Korea)
- ・ Prof. Teruo Hori (Univ. of Fukui, Japan)

実行委員会連絡先：

Prof. Deog Hee Doh
Korea Maritime University and Ocean Univ, Korea
E-mail: doh@kmou.ac.kr
TEL: +82-51-410-4364, Fax: +82-51-403-5991